

---

## 健康社会研究センター ニュースレター 第 9 号

2011. 01. 07 発行

---

### ◆ 目次 ◆

- 1 最近のプレスリリース
  - 2 主な研究成果発表
  - 3 学会・シンポジウム等のお知らせ
- 

#### 1 最近のプレスリリース（詳しくは、健康社会研究センターのホームページをご覧ください）

##### ① 外出・買い物・料理・園芸・スポーツしないと認知症リスクが約 2 倍（2011 年 1 月 7 日）

どんな人が認知症になりやすいのか、地域在住高齢者 9,720 名を 3 年間追跡して調べたところ、男女に共通して外出や買い物、料理ができない人、趣味の種類では男性は園芸的活動、女性ではスポーツ的活動をしていない人で認知症になる確率が約 2 倍も高いことがわかった。

##### ② 歯を失うと認知症のリスクが 1.9 倍に

～厚労省研究班が愛知県の高齢者の健康な高齢者 4425 名のデータを分析～（2011 年 1 月 7 日）

2003 年に愛知県の 65 歳以上の健常者を対象に郵送調査をし、その後 4 年間にわたり認知症の認定を受けたか否かを追跡しました。その結果、年齢、治療疾患の有無や生活習慣などに関わらず、歯がほとんどなく義歯を使用していない人、あまり噛めない人、かかりつけ歯科医院のない人は、認知症発症のリスクが高くなることが示されました。特に、歯がほとんどないのに義歯を使用していない人は、20 本以上歯が残っている人の 1.9 倍、認知症発症のリスクが高いことがわかりました。

##### ③ 悪性新生物による死亡に格差－所得が低い男性高齢者で死亡リスクが約 2 倍（2011 年 1 月 7 日）

日本人の死因の第一位は悪性新生物である。その悪性新生物による死亡のリスクに所得による格差がみられることが、高齢者約 15,000 人を最長 4 年間追跡した研究で明らかになった。男性高齢者のうち、「所得 200 万円未満」の人が悪性新生物によって死亡するリスクは、「所得 400 万円以上」の人に比べて約 2 倍であった。

#### 2 主な研究成果発表

##### <論文>

- ① 白井こころ, 磯博康, 近藤克則: 健康の社会的決定要因 (8) 「認知症」. 日本公衆衛生雑誌 57(11): 1015-1022, 2010, 11
- ② 竹田徳則, 近藤克則, 平井寛: 地域在住高齢者における認知症を伴う要介護認定の心理社会的危険因子 - AGES プロジェクト 3 年間のコホート研究. 日本公衆衛生雑誌 57(12): 1054-1065, 2010, 12

- ③ 岩永直子, 近藤克則: 健康の社会的決定要因への介入 イギリス NHS の現場に見る健康格差対策 (特集: 病気と社会を考える). 病院 70 (1): 19-23, 2011.1
- ④ 近藤克則: 医療・介護保険改革とリハビリテーション医学の課題 (特集: リハビリテーション医療の新たな展開). 民医連医療 (461): 6-11, 2011.1
- ⑤ 坪井宏仁, 近藤克則, 金子宏, 山本纈子: 冠動脈疾患と社会経済的要因—メカニズムと予防の視点から—. 行動医学研究, 印刷中.

#### <マスコミでのコメントなど>

- ① 近藤克則: 米有名教授が解き明かした「選択の秘密」中でコメント. 週刊文春 2010 年 12 月 9 日号
- ② 近藤克則: 健康寿命は自己責任だけでは語れない. へるすあっぷ 21 (315): 11-12, 2011.1

### 3 学会・シンポジウム等のお知らせ

#### 1) 地域医療に関するシンポジウム

「地域医療への政策提言はどうあるべきか ～経済・医療・公衆衛生の立場から～」

【日 時】 2011 年 1 月 13 日 (木) 18:00-20:30 (開場 17:30)

【会 場】 [三重県医師会館](#) 2 階大ホール

【内 容】 座長: 三重大学大学院医学系研究科公衆衛生・産業医学分野教授 筈島茂

18:00- 開会挨拶

三重大学大学院医学系研究科・教授 筈島茂

18:20- 「医療の歴史」

総合研究開発機構 (NIRA) 研究委員・教授 長谷川敏彦

18:55- 「まちなか集積医療」

総合研究開発機構 (NIRA) 客員研究員・准教授 伊藤由希子

19:35- 「ソーシャル・キャピタル」

ハーバード公衆衛生大学院・教授 イチロー・カワチ

20:10- パネルディスカッション・総括

20:30 閉会

【申し込み】 三重大学大学院医学系研究科 公衆衛生・産業医学分野

三重県津市江戸橋 2 丁目 174 TEL/FAX: 059-231-5012

e-mail: [publichealth@doc.medic.mie-u.ac.jp](mailto:publichealth@doc.medic.mie-u.ac.jp)

#### 2) 講演のお知らせ 群馬県介護支援専門員連絡協議会 公開講座

「介護予防ケアマネジメントはなぜ難しいのか ～健康格差社会の視点から考える～」

【日 時】 2011 年 1 月 16 日 (日) 13:00～

【会 場】 群馬県社会福祉総合センター 8 階ホール 定員 300 人

[http://www7.wind.ne.jp/caremane\\_gunma/20110116\\_a.pdf](http://www7.wind.ne.jp/caremane_gunma/20110116_a.pdf)

【申し込み】 [http://www7.wind.ne.jp/caremane\\_gunma/20110116\\_m.pdf](http://www7.wind.ne.jp/caremane_gunma/20110116_m.pdf)

### 3) アジア学術セミナー「社会関係資本とコミュニティ」開催のご案内

平成 22 年度 JSPS-NRF アジア学術セミナー「東アジアにおける社会関係資本とコミュニティ」

【開催期間】 2011 年 3 月 16 日～3 月 20 日（5 日間）

【会場】 日本大学法学部

【講師】 稲葉陽二（日本大学）、大守隆（APEC 経済委員会）、小川晃弘（Stockholm University）、金光淳（京都産業大学）、柴内康文（同志社大学）、高木大資（東京大学博士課程）、辻中豊（筑波大学）、藤本和弘（三重県政策部）、真鍋一史（青山学院大学）、宮川公男（一橋大学名誉教授）、山内直人（大阪大学）、Ichiro Kawachi（Harvard University）、Chulhee Kang（Tonsei University）、HyoungYong Kim（Dongguk University）、Jaeho Yeom（Korea University）、Jaesun Wang（Ajou University）、Jiwoong Yoon（Kyunghee University）、Jonghoon Bae（Seoul National University）

【受講資格】 社会関係資本に興味がある方で、日本を含むアジアの研究機関に在籍する若手研究者及び大学院博士後期課程に在籍している方、又は研究職にある若手研究者。ただし、技官及び民間等の研究者は対象としません。

【募集定員】 約 20 名（この他、韓国の若手研究者が約 20 名参加します）

【申込締切】 2011 年 1 月 17 日（月）18:00 [厳守]

【共催機関】 日本側：独立行政法人日本学術振興会・日本大学法学部  
韓国側：韓国研究財団・高麗大学校政経大学

【主催者】 日本側：日本大学法学部 教授 稲葉陽二  
韓国側：高麗大学校政経大学 教授 Sunhyuk Kim

【申し込み】 e-mail にて略歴を添付の上 [koenkai@law.nihon-u.ac.jp](mailto:koenkai@law.nihon-u.ac.jp)（日本大学法学部・稲葉研究室）までお申し込みください。

詳細はこちら → [http://www.jspss.go.jp/j-asia\\_seminar/index.html](http://www.jspss.go.jp/j-asia_seminar/index.html)（独立行政法人日本学術振興会）  
<http://www.law.nihon-u.ac.jp/news/20101221.html>（日本大学法学部）

---

ニューズレター第 9 号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせはこちら <[k-manami@n-fukushi.ac.jp](mailto:k-manami@n-fukushi.ac.jp)> (泉) >までお知らせください。

ニューズレターのバックナンバーはこちら <[バックナンバー](#)>

発行元：日本福祉大学 健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

（このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因－社会疫学の可能性」（2009 年 3 月 14 日開催）にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリスト web 登録をいただいた方に配信しています）